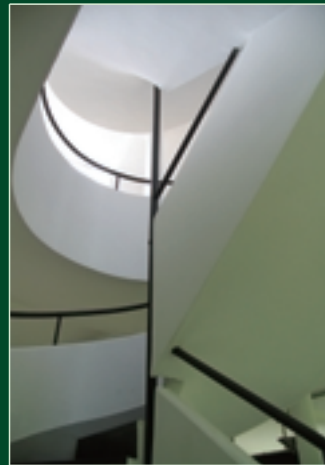


快適な住宅を  
実現させた  
近代の建築素材



可塑性豊かな「鉄筋コンクリート」や大開口部を可能にする「ガラス」の出現が、ル・コルビュジエの創造力を触発し、近代建築を出現させていく。写真上はサヴォワ邸の螺旋階段、写真下はラ・ロッシュ-ジャンヌレ邸のガラスの壁(カーテンウォール)。室内の家具は彼がデザインした寝椅子「LC4シェ・ズロング」。



空間

ラ・ロッシュ-ジャンヌレ邸(1923~24年・パリ)の3層吹き抜けホール(右)と、1階ピロティ部分(上)。建築を大地から切り離すピロティ、室内に垂直の大空間をつくる吹き抜けで豊かな「空間」をつくり出せることを、この建築で実証する

ル・コルビュジエが  
作品にあらわした  
快適性の要素

ル・コルビュジエは、快適な暮らしの源を「陽光あふれる緑豊かな空間」にあると考えた。それが、彼の創造性豊かな近代建築となり、そのコンセプトは彼の都市計画にもつながっていく。



光と緑

サヴォワ邸(1928~31年・パリ郊外)の屋上庭園に開放された居間(左)と、陽光あふれる室内スロープ(右)。「光」と「緑」を室内にふんだんに取り込むことを可能にする屋上庭園は、彼の建築の必須アイテムとなる



上・左 / 1927年、近代生活に合う集合住宅をテーマにしたドイツの住宅博覧会「ヴァイセンホーフ・ジードルンク」で、ル・コルビュジエが提案・建築した実験住宅。この「白い箱」は、後にインターナショナルスタイルと呼ばれることになる

ル・コルビュジエ

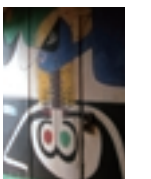
1887年スイス生まれ。1917年以降パリに定住し、建築や都市計画、家具デザイン等に従事。「近代建築の巨匠」として知られる。彼の都市理論を綴った著書『輝く都市』は、翻訳版が鹿島出版会より出版されている。1965年没。

ル・コルビュジエ  
の描いた  
『輝く都市』

Section 1

◆  
建  
築  
家  
の  
夢

染谷正弘 = 写真・文



そめや・まさひろ / 建築家・文化女子大学講師・DSA住まいの研究室主宰。「コミュニティデザイン」という計画概念の基に大規模集合住宅のデザインプロデュースを多く手掛ける。作品にシティアイア(千葉県我孫子市)リボンシティ・レジデンス(埼玉県川口市)大宮ファーストプレイスタワー(埼玉県さいたま市)等

「緑」と「空間」に満ちあふれた彼の建築はその姿を現す。それは、近代生活を快適にするための機能だけが裸形のまま建築空間化されたかのようである。

彼はさらにその考えを都市レベルにまで拡大し、理想の近代都市を提案する。それが『輝く都市』だ。広大な公園のなかに超高層タワー群が規則正しく林立し、空中に高速道路が走る『輝く都市』もまた、『太陽』と『緑』と『空間』に満ちあふれている。垂直空間を活用すれば、都市に空間のゆとりも緑地も生まれ、陽光は隅々まで行き届くだろう。ガラスに覆われた住居は中空高く積み重ねられ、1階のピロティ部分は公園に開放される……。人々は空も大地も同時に楽しめ、職住が近接するから交通渋滞も通勤地獄もない。あくまでも都心に快適に暮らすことを目指した大公園のなかの高密度垂直都市、それが『輝く都市』である。

ル・コルビュジエが想い描いた建築や都市は、当時の人々にとって、近未来住宅が建ち並ぶ近未来都市のように映ったことだろう。彼の都市計画案は、ほとんど実現されていない。でも、彼の夢は、彼が設計した小住宅や集合住宅モデルにたくさん散りばめられている。そして、およそ80年の時を経て、それらは現代の私たちの暮らしのなかに確かな形や空間となって息づいている。

20 世紀初頭、近代という新しい時代にふさわしい、新しい建築を夢見た建築家がいた。彼は、その夢を実現しようと、全く新しい建築を目指す。そして、画期的な住宅案や都市計画案を次々に構想・発表し、時代の寵児となって建築界に革命を起こしていく。

建築家の名は、ル・コルビュジエ。近代建築の巨匠と言われ、今も世界中の建築家や都市計画家に多大な影響を与え続けている。建築家であるとともに画家、彫刻家、家具デザイナー、都市計画家、文筆家でもあり、まさに近代のスーパースターと言っている。

「住宅は住むための機械である」。これは、当時、建築界に賛否両論の大論争を引き起こし、近代建築運動のマニフェストにもなった彼の言葉だ。近代化の象徴である「機械」に彼が見たものは、数学的な秩序、調和、精密さであり、近代建築を実現する手段としての有効性だった。住宅は、住まいの快適さを生産する純粋な機械のようであるべきと、彼は言いたかったのではないだろうか。近代科学技術が生み出した可塑性豊かな鉄筋コンクリートや巨大で透明なガラスを建築素材にして、「太陽」と

建築家ル・コルビュジエが夢見た「近代都市像」を今号から4回にわたってひも解きます。初回は、彼が提唱した近代建築や都市のコンセプトに焦点を当てて、お届けします。